

普及活動情勢報告（令和 9 年月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

「カイゼン」に向けて！

・・・夏秋米ナスの共同選果に取り組む・・・



関係機関と「カイゼン」の
取り組み方を協議

8月16日、四万十市西土佐総合支所においてJA・市・農業改良普及課で米ナス協同選果の問題点について検討しました。

米ナスの共同選果は、生産者の負担軽減のため今年からJAの出荷場で試行実施していますが、選果量が計画より低いことが課題となっています。

JAから、選果状況の説明を受けた後、農業改良普及課から「カイゼン」の手法に取り組むことを提案し、手順と役割分担、スケジュールを決めました。

農業改良普及課は、共同選果が次年度以降も取り組めるように問題点の確認と対策に取り組んでいきます。

経営内容を把握しよう！

・・・集落営農法人簿記講習会・・・



8月17日、幡多農業振興センターで集落営農法人向けの簿記講習会を開催し、4法人の会計担当者の参加がありました。

法人ごとに、簿記ソフトを使った記帳方法について説明し、また、初めて記帳に取り組む法人に対しては、簿記ソフトの操作方法や入力データの見方について説明を行いました。参加者からは「どこの勘定科目にいたらいいのかわからない」等の質問がありました。

今後も、集落営農法人のパソコン簿記に関する操作の習得や決算書作成等に向けて支援していきます。

改善点はどこだ？

・・・夏秋米ナス共同選果のレベルアップを目指す・・・



ビデオカメラで動作を録画

8月23日、JA西土佐集出荷場で「カイゼン」に向けたビデオ撮影を行いました。これは、共同選果のスピードアップを図るために改善点がないか協議するためです。

農業改良普及課は、撮影後JA職員・共選職員の協力を得て、作業工程や資材置き場の場所・動線を確認しました。

今後、この映像を元に、関係機関で改善可能な項目をリスト化し、すぐに取り組める内容について協議を行い、「カイゼン」に繋げていきます。

地域全体で黄化えそ病を抑えよう！

・・・キュウリ研修会・・・



8月25日、JA高知県幡多地区三崎支所でキュウリ研修会を開催し、生産者6名が参加しました。

研修会では、昨年度実施したマニュアルを活用した実証ほの結果報告と合わせて、変更点と対策を説明することで、黄化えそ病対策の重要なポイントを確認してもらうことが出来ました。

農業改良普及課は、巡回を通じて対策マニュアルの実践状況を確認しながら、黄化えそ病対策を推進していきます。

pHとECを測ってみよう！

・・・農業基礎講座（実践編）・・・



8月26日、四万十市のあぐりっこ研修センターで農業基礎講座（実践編）「作物の栄養と肥料・施肥」を開催し、研修生・新規就農者6名が参加しました。

普及指導員による講義の後、研修センターハウス内の土壌を参加者が採取し、pHとECを測定しました。参加者からは「砂地ではECが低くなることが分かった」等の声が聞かれました。

今後も研修生等の農業に関する知識・技術の習得に向けて、支援していきます。

GAPに取り組もう！

・・・あぐりっこ定例会・・・



9月14日、四万十市のあぐりっこ研修センターで定例会を開催し、GAPの取組みとして、農薬散布時の注意点と農薬散布の手順について、研修生を含め関係者4名で確認を行いました。

会では、農薬使用時の注意点や動噴の取り扱い方法、使用器具の洗浄、農薬管理など、農薬を散布する際に必要な準備から終了時までの作業手順を全員で確認することができました。

農業改良普及課は、今回確認した農薬取り扱い方法をマニュアル化し、あぐりっこ研修センターで活用できるようにしていきます。